

クイックガイド:PIXUL™ Multi-Sample Sonicator

このクイックガイドではPIXUL™ Multi-Sample Sonicator (Cat. No. 53130)の操作方法を説明します。

重要: PIXUL を使用した超音波処理にはPIXUL™ 96-well Plate with Sealer (Cat. No. 53139)およびCorning 社の 96 ウェル丸底プレート(Cat. No. 3799 または Cat. No. 7007)をご使用ください。指定以外のプレートの使用は、サンプルの不十分な破碎や装置の破損につながるおそれがあります。指定以外のプレートの使用により装置に不具合が生じた場合、保証期間内でも有償対応となります。

1. 電源の投入

1. 背面の電源スイッチを ON にします。これにより、タッチパネル右横の電源ボタン周囲のランプが点灯します。
2. 電源ボタンを押すと、タッチパネルに起動画面が表示された後、ホーム画面が表示されます。



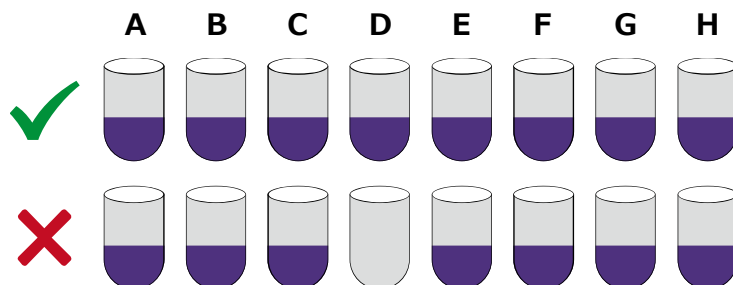
2. ソニケーションの準備

1. PIXUL の電源を入れたら Coupling Fluid (Cat. No. 53136)の液面をご確認ください。
2. ランニング用キャップを開けて、タンク内壁の上端から 2~3 cm の深さに液面があることを確認してください。タンクには約 600 mL 入ります。Coupling Fluid の液量が少ないと冷却効率が低下しますので、使用前に必ず液量を確認して適宜追加してください。

3. ソニケーション前の冷却

1. シーリングフィルムなどで密閉したプレートをステージに載せます。

注意: 必ず指定のプレートをご使用ください。また、超音波を照射するすべてのウェルには、サンプルの有無に関わらず、必ず 75-200 μ L の水やバッファを入れてください。空のウェルに超音波を照射すると装置が損傷する場合があります。



2. 圧力分散プレートカバーをプレートにかぶせ、レバーを両手で押さえてロックします。

3. 外蓋を閉じ、タッチパネルの“CIRCULATE”を押すと Coupling Fluid が循環して冷却が始まります。少なくとも温度表示が 14~15℃になるまでお待ち下さい（周囲の温度によりますが 5-15 分程度を要します）。

注意：プレートを載せない状態、または圧力分散プレートカバーをロックしていない状態で“CIRCULATE”を実行しないでください。Coupling Fluid があふれるおそれがあります。

4. 装置のプログラム設定

1. タッチパネルから処理するサンプルが入ったウェルの列(1~12)を選択します。
2. 下記のパラメーター設定を基準としてご使用ください。サンプルの種類やアプリケーションに応じて、“Process Time”を変更し、処理条件を最適化してください。

パラメーター	設定値
Pulse [N]	50
PRF [kHz]	1.00
Process Time [min]	30:00~36:00 (ChIP の場合)/2:00~5:00 (タンパク質アッセイの場合)
Burst Rate [Hz]	20.0

3. プログラムが完了したら冷却状態を確認し、“START”を押します。処理中に外蓋を開けないでください。
4. 処理が終了するまでの時間がタッチパネルの左上に表示されます。OK をタップし、外蓋を開けるとプレート下の Coupling Fluid が自動で排出されます（この間、5-10 秒ほどお待ちください）。
5. プレートを取出し、ダミープレートを載せて、圧力分散プレートカバーで固定してください。
6. 電源を切る手順は入れるときの逆順で行ってください。同じ日に再度使用する場合は、背面の電源スイッチを切る必要はありません（翌日以降まで使用しない場合は背面の電源スイッチも切ってください）。
7. Coupling Fluid の残量やエラーメッセージにご注意ください。

テクニカルサポート

PIXUL の使用方法などについてご不明な点がございましたら下記まで問い合わせください。



アクティブ・モティフ株式会社

電話：03-5225-3638

Email：japantech@activemotif.com

詳細な使用方法や仕様については、製品添付のマニュアルまたは下記の URL に掲載の最新マニュアルをご参照ください。

<https://www.activemotif.com/catalog/1300/pixul-multi-sample-sonicator#documents>